



青色防犯パトロール
講習会開かれる

青色防犯パトロール講習会が、6 月 15 日（日）中田公民館において古河警察署生活安全課の指導の下、開催されました。今回は 39 名の方が参加されました。青パト活動に必要なパトロール実施者証の継続更新と新規取得を目的とした講習会でした。

初めに古河市管内における刑法犯の発生状況について、「ニセ電話」や「SNS 詐欺」等が多くなり十分注意して欲しいとのことでした。次に「青パトとは？」や「青パトの始まり」、「青パトの遵守事項」等の説明がありました。続いてパトロール中の留意事項として行動や対応についてビデオで詳しく説明を受けました。特に住民からの急な訴えのような事案が発生した場合、慌てずに落ち着いて「110 番」「119 番」に連絡することを頭に入れて行動する事が大切であるとのことでした。

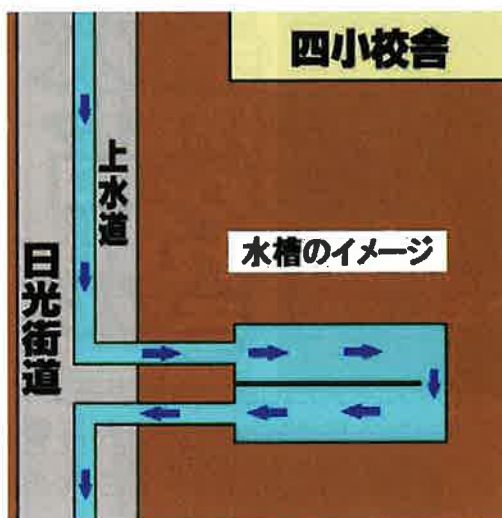
これからも「気楽に、気長に、危険なく」の 3 K をモットーに、パトロール活動を継続して参ります。また、「子ども達や地域の住民の方との対話ができる、安心・安全な明るく住みよい町づくり」を目指して、パトロール員一同活動して参ります。地域の皆様方の、青パトへのご理解と積極的なご参加、ご協力をよろしくお願いします。

（文責：堀江）

番号 272-25	
パトロール実施者証	
氏 名 XXXXXXXXXX	
所属団体名	第4地区コミュニティ交通防犯部会
パトロール実施地域	古河市行政自治会第4地区内
茨城県警察本部長	
発行日 平成 28 年 9 月 30 日	

耐震性大型貯水槽、聞きなれない言葉ですが、これは地震等で水道が止まった時の飲料水の給水や、火災時の消火用水として、第四小学校の校庭地中の大直径の上水道管に水を貯水する施設です。

ただし貯水槽と言っても、この水は溜め水ではなく、日ごろはみなさんが家庭で使っている水道水(上水道)として、絶えず流れているものです。ですから、この水を使うときには、いつでも新鮮な状態の水が使えることになります。



今回、この施設の点検(古河市消防防災課)にあたり説明会を開催してもらったところ、各自治会、消防団、学校より約30名の参加がありました。猛暑の中での説明会でしたが参加者からは真剣な質問が寄せられました。

地中の水槽本体を見ることはできませんが、この水槽の貯水量はおよそ100トン、互いに協力し合って給水を受けることが重要であること、それにもまして非常時の水の確保について個人でも考え、準備をしておくことの大切さをあらためて思い起こされた一日となりました。(文責 菊田)

家庭での簡易水防 ～ 水囊の活用

ゲリラ豪雨、線状降水帯、記録的短時間大雨など近年、各地で局地的な大雨が発生しています。これらの大雨による災害は大災害にはなりませんが、一時に降ったたくさんの雨が低い所の、道路の冠水や住宅の浸水などを引き起こしたりします。とくに住宅の中への水の侵入は防ぎたいものです。土嚢(どのう)が有効とされていますが、土や砂がすぐに用意できない場合、水嚢(すいのう)での対処を提案します。

(文責 菊田)

＜ゴミ袋を使った簡易水嚢(すいのう)の作り方＞

1. 40リットルのゴミ袋を二重にする。
2. 中に半分程度の水を入れる。
3. 袋の中の空気を抜いて口をしっかり結ぶ。
4. 水の侵入しやすい低いところ(玄関など)に隙間なくならべる。



自治会活動のヒント

〇〇講座や△△教室を開いてみませんか？

今回は実際に行った古河市高齢介護課による出前講座を紹介します。

去る6月18日に茶屋町寿会（老人クラブ）でお楽しみ会を開催した際に出前講座を実施しました。会員が集まりコミュニケーションを取ることも大事です。さらには出て来て良かった、ためになった、健康に気を付けよう、とあっていただければ幸いです。講師は古河市高齢介護課の元気な女性インストラクター2名です。講座名は「**高齢者いきいき健康教室～今からはじめる介護予防**」、講演時間は60分です。

準備していただいた資料は大変わかりやすく、転倒事故の現状→原因→対策→予防（環境づくりと身体づくり）が重要であることが理解できました。

後半は、全員参加による柔軟性・バランス・注意力・足腰の筋力アップを講師の指導のもと楽しく学びました。みなさんの町内でも開催されてはいかがでしょうか。

（文責 平河内）



古河市水害対応総合訓練に参加して

第4地区コミュニティ



去る6月29日、三和地区の指定避難所ゴヨーふれあいスポーツセンターにおいて「古河市水害対応総合訓練」が開催され、第4地区コミュニティから各自治会役員、自主防災会員が参加しました。

参加者はバス避難組、マイカー避難組とに分かれ、避難経路の安全度、危険度を確認しつつ会場に集合、第15地区の自治会関係者が運営担当する避難所生活の体験をしました。

屋外には防災車輛・給電車輛の展示、車中泊（車中避難）体験、屋内では防災装備・簡易トイレ等の用具の組み立て方、使い方等の説明を受け、体験ができました。

災害発生時には避難者一人あたり2m×2mの区画が割り当てられるとのことでしたが、家族数名の場合人数分割り当てられるのか？の問いには「うーん」という様子でした。

中でも目を引いたのが段ボールベッド、「こういうのがあるといいよね。」と好評のようでしたが、市の防災監によると「備蓄数量は全然足りないし、避難所への配送にも大変な時間と人手がかかる。配送されないかもしれない。」というのが現実のようです。

参加者からの「それじゃ避難所へ避難しても、つらい思いをしなくちゃならないね。」の声に、「だからできるだけ避難所以外の所へ避難してください。」という防災監の言葉が心に残りました。

（文責 横塚）





古河市立古河第四小学校

学校教育目標

姿勢を正しく

自ら学び 健康で 心豊かな子の育成

キャッチフレーズ

「明るく 楽しい きれいな学校」

共通実践「笑顔」「元気にあいさつ」

新しい時代に必要な資質・能力の育成

本校では、子どもたちが未来を生き抜く力を育むため、「**確かな知識・技能の定着**」と「**体験活動の充実**」、そして「**自ら課題を設定し、解決に取り組む探究的な学び**」に取り組んでいます。

知識を「わかる」だけでなく「できる」ようにするため、実験や校外学習など、五感を使った**体験的な学び**を重視しています。子どもたち自身が疑問を持ち、友だちと協力しながら解決をする探究的な学習を通して、思考力や協働性を育んでいます。

これらの学びをさらに深めるため、本校では地域の方々との交流を積極的に進め、地域の教育力を最大限に活用したいと考えております。地域の皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。



交通安全教室（１年）



スーパー見学（３年）



保護者との家庭科実習（５年）



町たんけん（２年）



大洗水族館遠足（４年）



租税教室（６年）

編集後記

いつも広報誌をご愛読いただき、ありがとうございます。今年の夏は、全国的に不安定な天候が続いています。局地的な大雨や急な雷雨など、いつどこで発生するか予測が難しい自然災害には、引き続き警戒が必要です。外出の際はもちろん、ご自宅でもいざという時の備えを今一度確認し、安全対策を心がけてください。

まだまだ暑い日が続くようですが、皆さまがこの夏を健やかに、そして安全に過ごされることを心より願っています。これからも地域に役立つ情報をお届けできるよう、広報部一同努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。